



2022年12月6日
東日本旅客鉄道株式会社

サステナビリティボンドの発行について

- JR東日本は、2020年より毎年継続的にサステナビリティボンド（※1）を発行しており、このたび第4回サステナビリティボンドを発行します。
- JR東日本は、グループ経営ビジョン「変革2027」においてESG経営の実践を掲げております。本サステナビリティボンドの発行により、JR東日本グループの持続的な成長を目指すとともに、事業を通じて社会的な課題を解決し、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に取り組めます。
- 今回の発行にあたり、今後のサステナビリティファイナンスの継続的な実行を念頭に、「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者評価機関であるDNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社からサステナビリティファイナンスに係る各種基準等への適合性についての評価を取得しています。
- 本サステナビリティボンドの発行により調達された資金は、「E235系車両（横須賀・総武快速線）」および「KAWASAKI DELTA（カワサキデルタ）」に充当する予定です。

※1 サステナビリティボンドとは、環境・社会的問題双方の解決に資するプロジェクトを資金使途とする債券です。

1. サステナビリティボンドの発行概要について

1 年限	5年、10年
2 発行総額	未定
3 発行時期	2023年1月（予定）
4 主幹事証券会社	野村証券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

その他詳細は決定後にお知らせします。

2. サステナビリティファイナンス・フレームワークの策定および外部評価（セカンドパーティ・オピニオン）の取得について

サステナビリティファイナンス・フレームワーク

サステナビリティファイナンスの実行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）のサステナビリティボンド・ガイドライン等に定められている4つの要素（1. 調達資金の使途、2. プロジェクトの評価と選定のプロセス、3. 調達資金の管理、4. レポーティング）に関する方針を記載した「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定しました。

https://www.jreast.co.jp/investor/sustainability-bond/pdf/sustainabilityfinance_framework.pdf

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社による外部評価（セカンドパーティ・オピニオン）

本フレームワークについて、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より、サステナビリティファイナンス等に係る各種基準との適合性に対する外部評価（セカンドパーティ・オピニオン）を取得しました。

https://www.jreast.co.jp/investor/sustainability-bond/pdf/sustainabilityfinance_framework_spo.pdf

3. 資金使途について

本サステナビリティボンドについては、「E235 系車両（横須賀・総武快速線）」および「KAWASAKI DELTA」を対象としています。

■ E235 系車両（横須賀・総武快速線）



E235 系は、首都圏の通勤・通学を主とする輸送におけるさらなるサービス向上、安定性向上を目的に、多くの新規技術を導入した次期通勤型車両です。

主な特徴として、普通車の各車両にフリースペースを設置するとともに、普通車に設置するトイレを、すべて車いす対応大型洋式トイレにすることで、バリアフリー設備を充実させております。また、全車両への LED 照明の採用や回生ブレーキによるエネルギーの有効活用により消費電力の低減を図っていることに加え、SiC 素子を採用した VVVF インバータを搭載し、従来品からの回生ブレーキ電力の向上やインバータ装置の効率向上を実現しています。

詳しくは下記のプレスリリースもご覧ください。

- ・ 横須賀・総武快速線用車両の新造について（2018 年 9 月 4 日）
<https://www.jreast.co.jp/press/2018/20180902.pdf>
- ・ 横須賀・総武快速線 E235 系営業運転開始について（2020 年 11 月 12 日）
https://www.jreast.co.jp/press/2020/yokohama/20201112_y02.pdf

■ KAWASAKI DELTA



JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「変革 2027」のもと、「住んで、働いて、訪れて良かった」と感じていただける「暮らしづくり（まちづくり）」を進めています。

2021年4月に街区全体完成を迎えた「KAWASAKI DELTA」では、脱炭素の実現に向けて「サステナブルなまちづくり」を実践しています。2021年6月に各主用途にて ZEB Ready 他 ZEB (Zero Energy Building) カテゴリーを複数取得しました。なお、10万㎡超級の大規模複合開発ビルでの ZEB カテゴリー複数取得は国内初（※2）となります。

また、施設全体を覆う歩行者デッキや近隣街区へ渡る歩行者専用道路等により、周辺市街地と繋がる安全・快適な歩行者ネットワークが誕生しました。歩行者デッキ上の中央広場「デルタプラザ」などのオープンスペースや多様なレストスペース、緑豊かな回遊空間により、利用者の交流・憩いの場となることを目指しています。

※2 （一社）住宅性能評価・表示協会 HP を参照、建築物省エネ法上の用途分類「工場等」及び庁舎・官公庁施設を除く

詳しくは下記プレスリリースもご覧ください。

- ・ 川崎駅西口開発計画 2021年4月全体完成 街区名称を「KAWASAKI DELTA」に決定（2020年3月26日）
https://www.jreast.co.jp/press/2019/yokohama/20200326_y02.pdf
- ・ JR川崎タワー 商業棟が2021年5月13日（木）より順次開業（2021年1月22日）
https://www.jreast.co.jp/press/2020/yokohama/20210122_y01.pdf
- ・ KAWASAKI DELTA 「サステナブルなまちづくり」の実践（2021年6月25日）
https://www.jreast.co.jp/press/2021/20210625_ho01.pdf

（参考）DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社について

DNV は、自主独立した第三者機関としてグローバルな活動を展開しており、国内では2018年から環境省グリーンボンド補助事業の制度開始当初から外部レビュー機関として登録・参画してきました。DNV は、150年間続くあらゆるリスクマネジメントに関する様々な活動を行う先駆的国際機関として、世界100ヶ国以上、300の事務所、85もの様々な国籍を持つ16,000人のスタッフが認証・アセスメント・船級等の分野でサービスを提供しています。